

	号外	定価 1部2円	職場改善の切実な 実態や声を突きつ け、11月8日の県 職労総務部長交渉 で前進回答を実現 させよう。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

## 2024確定闘争⑦ ヤマ場 10.31県職労・人事課総括課長交渉

### 暫定再任用格付

### 人事異動作業で個別に検討 処遇改善の趣旨で決めるものではない

⇒当事者の立場に立ち、級格付の考え方の明確化求める

## フレックス拡充 拙速を避け慎重検討を/確定闘争と切り離し

## 豚熱対応:12月勤勉手当上位区分特別枠100人



改善回答を求める県職労交渉団

10月30日、県職労は2024確定期ヤマ場となる内城人事課総括課長との2度目の交渉を行った。県職労独自課題の交渉結果は次のとおり(賃金等の地公共闘共通課題は11月5日付け赤枠号外第2712号を参照)。

#### 【交渉結果】①定年引上げ対象職員

が暫定再任用職員となる場合の級の格付について「現在在籍している暫定再任用職員と同様に、本人の意向等を踏まえ、毎年度の人事異動作業の中で、個別に検討していく」「級の格付は、職務給の原則に基づき、個々の職員の担う役割に応じて決定する必要があるものであり、処遇改善の趣旨で決定するものではない」とした。

②人員の確保及び長時間労働の是正について「これまでも弾力的に人員確保を図ってきた」「就職先として選ばれるよう魅力のある職場づくりを進める必要がある、フレックスタイム制の拡充など、一層の働き方改革に取り組むとともに、給与の面でも、前回御意見のあった初任給基準の見直しについて、検討を進めたい」とした。また、今年度の超過勤務手当予算について「各部局からヒアリングを実施し、超過勤務の現状、今後の見込み等について聴取した」「年度内の所要額の確保に向けた最終的な精査を行っている」とした。



回答する  
内城人事課総括課長

(裏面に続く)

## 1 定年引上げ対象職員が暫定再任用職員となる場合の級の格付

(県職労) 暫定再任用職員に移行する際に、低い級を希望しても、業務量や業務内容が移行後の級に見合わない高度なものとなる可能性もある。また、在職途中の事情変化で級の変更を希望する場合もありうる。在職途中における級の変更の可否はどうか。

(人事課総括課長) 職務の内容や責任について、職位の変更を要する程度に変更する必要が生じた場合は、職位を変更し、それに伴い給料の級も変更となることは想定される。これは暫定再任用職員に限らない。一時的な業務量や業務内容の増減に連動して職位を変更する取扱いとはしていない。

(県職労) 職位を処遇に合わせて決めるものではない一方で、主任主査、主査、主任等の職位に合わせた働き方が明確にあるわけでもない。当事者の立場に立って、級の格付の考え方を明確にしてほしい。

## 2 人員の確保及び長時間労働の是正

(県職労) 今年度からは必要に応じて主管室課主導で業務支援を実施できることとされたが、業務支援で人を送り出す所属にとっては、さらなる人員不足で当該職場の体制が確保できない等の弊害が既に生じている。現在の人員不足のほとんどは、機動的な人員の再配置では対応できない。人員増を前提とした改善策こそ示すべき。

(人事課総括課長) 限られたマンパワーを最大限活用し、必要な県民サービスを持続的に提供していくための体制を構築していく必要がある。



人員課題訴える  
佐々木副委員長

## 3 フレックスタイム制の拡充

(県職労) 先の交渉で、フレックスタイム制度の対象者を2025年度から一部を除き全職員に拡充する旨の提案があった。現状でも多くの課題がある中、さらに多くの課題が生じるものと考えられ、拙速を避けた慎重な検討が不可欠である。12月議会での条例改正とはせず、今期交渉とは別に協議の場を設けることを求めたい。

(人事課総括課長) 皆さんの理解を得ながら進めていくことが必要と考えており、御意見を踏まえ、2月議会に条例改正を提案できるよう、引き続き協議することとしたい。フレックス拡充と並行し、子等の看護休暇の日数加算も検討を進めていきたい。

## 4 豚熱対応に係る12月勤勉手当上位区分の特別枠

(県職労) 5～6月の豚熱対応に従事した職員に対し、12月勤勉手当の上位区分に特別枠を設ける予定はあるか。過去のコロナや鳥インフルの際、対象業務に従事したのに勤勉手当が上位区分に該当しなかったという不満の声が寄せられた。もし特別枠を設ける場合、従事した職員への納得性の観点から対象範囲を明確に示すべき。

(人事課総括課長) 通常の評価枠、勤続加算枠を確保のうえ、家畜保健衛生所の獣医師と、4回以上防疫作業(殺処分)に従事した職員を合わせて、概ね100人を特別枠の対象とする。原資の制約上、一定人数までとせざるを得なかった。特別枠の対象外となった職員を含め、豚熱への対応には感謝している。



手当課題訴える  
福士中執